

財 務 諸 表 等

令 和 元 年 度
(第 1 6 期事業年度)

自：平成 3 1 年 4 月 1 日
至：令和 2 年 3 月 3 1 日

独立行政法人 国立病院機構

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 行政コスト計算書	3
3. 損益計算書	4
4. 純資産変動計算書	8
5. キャッシュ・フロー計算書	9
6. 損失の処理に関する書類	1 1
7. 注記事項	1 2
8. 附属明細書	2 2
(1) 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の資産に係る費用相当額の会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
(2) たな卸資産の明細	
(3) 有価証券の明細	
(4) 長期貸付金の明細	
(5) 長期借入金の明細	
(6) 引当金の明細	
(7) 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
(8) 退職給付引当金の明細	
(9) 資産除去債務の明細	
(10) 資本剰余金の明細	
(11) 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細	
(12) 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
(13) 役員及び職員の給与の明細	
(14) 科学研究費補助金の明細	
(15) 開示すべきセグメント情報	
(16) 関連公益法人の状況	
(17) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
9. 添付資料	
(1) 決算報告書	3 1
(2) 監事の意見	3 6
(3) 会計監査人の意見	3 7
(4) 施設別財務書類	別冊 1
(5) 事業報告書	別冊 2

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表
(令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
I 流動資産			
現金及び預金		79,795,672,001	
有価証券		50,000,000,000	
医業未収金	162,720,159,555		
貸倒引当金	△ 469,716,288	162,250,443,267	
未収金		9,197,483,810	
医薬品		4,322,848,423	
診療材料		1,898,013,712	
給食用材料		102,245,792	
貯蔵品		602,223,356	
前払費用		128,284,022	
未収収益		2,066,828	
その他流動資産		801,104,023	
流動資産合計			309,100,385,234
II 固定資産			
1 有形固定資産			
建物	901,521,155,931		
減価償却累計額	△ 403,514,115,564		
減損損失累計額	△ 10,214,470,665	487,792,569,702	
構築物	40,993,374,831		
減価償却累計額	△ 22,502,411,870		
減損損失累計額	△ 527,218,550	17,963,744,411	
医療用器械備品	269,225,475,039		
減価償却累計額	△ 222,990,669,596		
減損損失累計額	△ 68,978,205	46,165,827,238	
その他器械備品	64,202,949,913		
減価償却累計額	△ 46,144,333,949		
減損損失累計額	△ 17,290,238	18,041,325,726	
車両	1,382,271,670		
減価償却累計額	△ 1,216,050,946		
減損損失累計額	△ 207,828	166,012,896	
土地	470,027,375,370		
減損損失累計額	△ 797,497,852	469,229,877,518	
建設仮勘定		4,018,231,787	
その他有形固定資産		78,439,400	
有形固定資産合計		1,043,456,028,678	
2 無形固定資産			
特許権		78	
ソフトウェア		19,199,312,174	
電話加入権		195,068,195	
その他無形固定資産		76,091,236	
無形固定資産合計		19,470,471,683	
3 投資その他の資産			
長期貸付金		1,688,261,219	
破産更生債権等	1,839,338,716		
貸倒引当金	△ 1,839,338,716	0	
長期前払費用		37,390,522	
災害備蓄在庫		675,598,726	
退職給付引当金見返		52,517,199,192	
その他投資資産		18,709,500	
投資その他の資産合計		54,937,159,159	
固定資産合計			1,117,863,659,520
資産合計			1,426,964,044,754

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 流動負債				
運営費交付金債務		2,702,017,896		
預り補助金等		41,601,693		
預り寄附金		922,838,641		
一年以内返済長期借入金		58,119,322,546		
買掛金		40,454,350,432		
未払金		67,226,168,829		
一年以内支払リース債務		265,475,711		
未払費用		85,446,934		
未払消費税等		536,874,300		
預り金		3,659,082,375		
前受収益		19,044,594		
引当金				
賞与引当金	29,808,897,877			
損害補償損失引当金	943,871,639	30,752,769,516		
一年以内履行資産除去債務		1,065,133,384		
その他流動負債		303,374,954		
流動負債合計			206,153,501,805	
II 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費交付金	1,876,054,349			
資産見返補助金等	23,355,617,758			
資産見返寄附金	1,520,626,239			
資産見返物品受贈額	8,966,605	26,761,264,951		
長期預り寄附金		50,245,715		
長期借入金		462,044,985,610		
長期未払金		383,628,833		
引当金				
退職給付引当金		313,253,452,219		
リース債務		488,033,932		
資産除去債務		2,838,801,175		
その他固定負債		236,241,334		
固定負債合計			806,056,653,769	
負債合計				1,012,210,155,574
純資産の部				
I 資本金				
政府出資金		202,905,911,289		
資本金合計			202,905,911,289	
II 資本剰余金				
資本剰余金		234,370,863,404		
その他行政コスト累計額				
減価償却相当累計額(－)	△ 5,774,221,103			
減損損失相当累計額(－)	△ 7,562,367			
除売却差額相当累計額(－)	△ 3,173,323,586	△ 8,955,107,056		
資本剰余金合計			225,415,756,348	
III 繰越欠損金				
当期末処理損失		△ 13,567,778,457		
(うち当期総損失)	(	△ 4,222,262,582)		
繰越欠損金合計			△ 13,567,778,457	
純資産合計				414,753,889,180
負債純資産合計				1,426,964,044,754

行政コスト計算書
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 損益計算書上の費用		
診療業務費	983,294,457,638	
教育研修業務費	7,739,447,685	
臨床研究業務費	12,880,832,560	
一般管理費	3,952,901,606	
その他経常費用	10,062,748,863	
臨時損失	66,131,327,795	
損益計算書上の費用合計		1,084,061,716,147
II その他行政コスト		
減価償却相当額	404,667,271	
除売却差額相当額	△174,511,825	
その他行政コスト合計		230,155,446
III 行政コスト		1,084,291,871,593

損 益 計 算 書
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
経常収益				
I 診療業務収益				
医業収益				
入院診療収益	751,200,646,206			
室料差額収益	13,929,415,657			
外来診療収益	213,993,329,426			
保健予防活動収益	3,698,618,571			
その他医業収益	5,702,069,444			
保険等査定減(一)	△ 3,188,762,222	985,335,317,082		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	5,169,257	5,169,257		
補助金等収益				
補助金等収益	3,679,626,307			
資産見返補助金等戻入	1,703,465,243	5,383,091,550		
寄附金収益				
寄附金収益		258,331,274		
資産見返物品受贈額戻入		806,872		
施設費収益		21,901,676		
その他診療業務収益		5,900,371,425		
診療業務収益合計			996,904,989,136	
II 教育研修業務収益				
看護師等養成所収益		4,018,792,985		
研修収益		382,566,454		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益	194,103,017			
資産見返運営費交付金戻入	3,620,855	197,723,872		
補助金等収益				
補助金等収益	557,715,732			
資産見返補助金等戻入	7,931,463	565,647,195		
寄附金収益				
寄附金収益		1,015,000		
その他教育研修業務収益		71,951,599		
教育研修業務収益合計			5,237,697,105	
III 臨床研究業務収益				
研究収益		6,634,374,601		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益	3,825,360,966			
資産見返運営費交付金戻入	87,068,011	3,912,428,977		
補助金等収益				
補助金等収益	38,926,757			
資産見返補助金等戻入	166,164,715	205,091,472		
寄附金収益				
寄附金収益	324,648,069			
資産見返寄附金戻入	18,422,142	343,070,211		
その他臨床研究業務収益		44,915,268		
臨床研究業務収益合計			11,139,880,529	
IV その他経常収益				
財務収益				
受取利息		11,277,013		
土地建物等貸付料収入		1,409,078,091		
宿舍貸付料収入		738,546,535		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益	1,052,306,749			
資産見返運営費交付金戻入	294,913,201	1,347,219,950		
補助金等収益				
補助金等収益	261,758,401			
資産見返補助金等戻入	2,611,108	264,369,509		
寄附金収益				
寄附金収益		1,377,000		
退職給付引当金見返に係る収益		296,294,102		
その他経常収益		2,880,837,530		
その他経常収益合計			6,948,999,730	
経常収益合計				1,020,231,566,500

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
経常費用				
I 診療業務費				
給与費				
給料	344,964,368,238			
賞与	56,503,686,478			
賞与引当金繰入額	25,307,348,881			
退職給付費用	66,427,383,458			
法定福利費	25,654,247,303	518,857,034,358		
材料費				
医薬品費	165,944,873,915			
診療材料費	83,394,739,585			
医療消耗器具備品費	4,202,860,484			
給食用材料費	11,250,305,568	264,792,779,552		
委託費				
検査委託費	6,522,180,563			
給食委託費	10,923,874,977			
寝具委託費	1,676,463,619			
医事委託費	12,152,174,178			
清掃委託費	4,627,189,450			
保守委託費	4,740,307,475			
その他の委託費	15,040,251,089	55,682,441,351		
設備関係費				
減価償却費	63,119,813,689			
修繕費	7,064,197,583			
器機賃借料	14,717,971,086			
地代家賃	567,714,600			
固定資産税等	315,264,686			
器機保守料	18,724,763,658			
器機設備保険料	240,758			
車両関係費	106,979,124			
P F I 費用	3,743,104	104,620,688,288		
研究研修費		334,059,247		
経費				
福利厚生費	351,868,463			
旅費交通費	1,674,757,679			
通信費	1,638,951,686			
消耗品費	6,168,385,516			
消耗器具備品費	3,354,670,232			
水道光熱費	18,900,904,636			
患者諸費	1,339,059,630			
租税公課	1,799,378,112			
医業貸倒損失	5,719,229			
貸倒引当金繰入額	214,241,126			
低価法評価損	14,432,822			
その他	3,545,085,711	39,007,454,842		
診療業務費合計			983,294,457,638	
II 教育研修業務費				
看護師等養成所運営費				
給与費				
給料	2,931,315,773			
賞与	548,687,468			
賞与引当金繰入額	252,466,044			
退職給付費用	600,123,845			
法定福利費	215,043,907	4,547,637,037		
経費				
福利厚生費	1,299,610			
臨床実習協力費	71,291,226			
旅費交通費	61,570,902			
通信費	33,325,246			
消耗品費	117,170,204			
消耗器具備品費	112,389,604			
生徒関連諸費	123,098,783			
水道光熱費	202,530,818			
減価償却費	873,123,010			
その他	376,522,198	1,972,321,601		

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
研修活動費			
給与費			
給料	304,040,127		
賞与	27,645,325		
賞与引当金繰入額	9,882,235		
退職給付費用	16,778,140		
法定福利費	23,323,759	381,669,586	
経費			
福利厚生費	315,064		
旅費交通費	341,586,075		
通信費	13,900,487		
消耗品費	20,798,842		
消耗器具備品費	26,953,818		
水道光熱費	62,090,299		
減価償却費	183,164,910		
その他	189,009,966	837,819,461	
教育研修業務費合計			7,739,447,685
III 臨床研究業務費			
給与費			
給料	4,817,159,419		
賞与	841,221,351		
賞与引当金繰入額	357,142,927		
退職給付費用	638,671,701		
法定福利費	428,711,121	7,082,906,519	
材料費			
医薬品費	556,179,073		
研究材料費	169,651,201		
研究用消耗器具備品費	179,119,271	904,949,545	
経費			
福利厚生費	11,923,903		
旅費交通費	684,706,453		
通信費	129,462,238		
消耗品費	370,184,079		
消耗器具備品費	627,928,208		
水道光熱費	171,455,056		
委託費	1,261,818,897		
減価償却費	740,405,526		
その他	895,092,136	4,892,976,496	
臨床研究業務費合計			12,880,832,560
IV 一般管理費			
給与費			
給料	1,816,256,684		
役員報酬	81,757,509		
賞与	388,441,950		
賞与引当金繰入額	175,111,185		
退職給付費用	756,844,567		
法定福利費	149,126,733	3,367,538,628	
経費			
福利厚生費	7,926,094		
旅費交通費	122,314,029		
通信費	24,811,954		
消耗品費	47,878,985		
消耗器具備品費	8,196,567		
水道光熱費	25,487,154		
賃借料	13,436,014		
租税公課	74,678,429		
減価償却費	64,600,022		
その他	196,033,730	585,362,978	
一般管理費合計			3,952,901,606

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額			
V その他経常費用				
減価償却費		616,701,849		
財務費用				
支払利息	2,630,260,371			
支払手数料	404,575,051	3,034,835,422		
その他経常費用		6,411,211,592		
その他経常費用合計			10,062,748,863	
経常費用合計				1,017,930,388,352
経常利益				2,301,178,148
臨時利益				
固定資産売却益			39,308,577	
退職給付引当金見返に係る収益			59,416,992,194	
その他臨時利益			151,586,294	59,607,887,065
臨時損失				
固定資産除却損			2,213,314,977	
固定資産減損損失			864,716,958	
損害補償損失引当金繰入額			241,909,750	
賠償金等負担額			622,585,256	
会計基準改訂に伴う退職給付費用			59,416,992,194	
その他臨時損失			2,771,808,660	66,131,327,795
当期純損失				△ 4,222,262,582
当期総損失				△ 4,222,262,582

純資産変動計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

	I 資本金		II 資本剰余金					III 繰越欠損金			純資産合計
	政府出資金	資本金 合計	資本剰余金	その他行政コスト累計額			資本剰余金 合計	当期 未処理損失	うち当期 総利益（又は 当期総損失）	繰越欠損金 合計	
				減価償却相当 累計額 （－）	減損損失相当 累計額 （－）	除売却差額 相当累計額 （－）					
当期首残高	202,905,911,289	202,905,911,289	234,152,952,560	△ 5,369,553,832	△ 7,562,367	△ 3,347,835,411	225,428,000,950	△ 9,345,515,875	1,744,913,903	△ 9,345,515,875	418,988,396,364
当期変動額											
I 資本金の当期変動額											
II 資本剰余金の当期変動額											
固定資産の取得			217,910,844				217,910,844				217,910,844
固定資産の除売却				36,406,009		174,511,825	210,917,834				210,917,834
減価償却				△ 441,073,280			△ 441,073,280				△ 441,073,280
III 繰越欠損金の当期変動額（純額）											
(1) 利益の処分又は損失の処理											
(2) その他											
当期純損失								△ 4,222,262,582	△ 4,222,262,582	△ 4,222,262,582	△ 4,222,262,582
当期変動額合計	0	0	217,910,844	△ 404,667,271	0	174,511,825	△ 12,244,602	△ 4,222,262,582	△ 4,222,262,582	△ 4,222,262,582	△ 4,234,507,184
当期末残高	202,905,911,289	202,905,911,289	234,370,863,404	△ 5,774,221,103	△ 7,562,367	△ 3,173,323,586	225,415,756,348	△ 13,567,778,457	△ 4,222,262,582	△ 13,567,778,457	414,753,889,180

キャッシュ・フロー計算書
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	983,576,870,839
補助金等収入	6,887,111,167
補助金等の精算による返還金の支出	△ 8,714,047
寄附金収入	289,511,208
その他の収入	6,516,525,406
人件費支出	△ 501,005,039,328
材料の購入による支出	△ 264,100,612,988
その他の業務支出	△ 133,787,804,151
小計	98,367,848,106
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	4,020,010,150
研修による収入	404,543,492
運営費交付金収入	218,697,015
補助金等収入	582,555,594
補助金等の精算による返還金の支出	△ 172,000
寄附金収入	1,014,625
その他の収入	71,877,699
人件費支出	△ 4,771,985,650
その他の業務支出	△ 1,782,465,481
小計	△ 1,255,924,556
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	6,627,860,935
運営費交付金収入	3,889,163,990
補助金等収入	139,116,969
寄附金収入	303,233,684
その他の収入	47,134,525
人件費支出	△ 6,917,964,924
材料の購入による支出	△ 882,170,603
その他の業務支出	△ 4,282,869,828
小計	△ 1,076,495,252
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
運営費交付金収入	11,419,909,995
補助金等収入	303,312,171
寄附金収入	1,390,200
その他の収入	3,420,495,558
人件費支出	△ 31,591,196,630
その他の業務支出	△ 13,785,664,973
小計	△ 30,231,753,679
利息の受取額	9,612,468
利息の支払額	△ 2,702,593,582
業務活動によるキャッシュ・フロー	63,110,693,505

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	4,000,000,000
定期預金の預入による支出	△ 2,000,000,000
有価証券の償還による収入	19,000,000,000
有価証券の取得による支出	△ 33,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	426,419,900
有形固定資産の取得による支出	△ 72,131,493,561
無形固定資産の取得による支出	△ 7,867,116,768
資産除去債務の履行による支出	△ 203,126,599
貸付金の回収による収入	176,969,937
貸付金による支出	△ 542,201,200
その他の投資活動による収入	536,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92,140,012,291
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	85,500,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 58,150,289,546
リース債務償還による支出	△ 887,497,783
PFI債務償還による支出	△ 47,880,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,414,332,420
IV 資金増加額	△ 2,614,986,366
V 資金期首残高	82,410,658,367
VI 資金期末残高	79,795,672,001

損失の処理に関する書類

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
I 当期未処理損失			△13,567,778,457
当期総損失	△4,222,262,582		
前期繰越欠損金	△9,345,515,875		
II 次期繰越欠損金			△13,567,778,457

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

当事業年度より、改訂後の「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」（平成 30 年 9 月 3 日改訂）並びに「『独立行政法人会計基準』及び『独立行政法人会計基準注解』に関する Q&A」（平成 31 年 3 月最終改訂）（以下「独立行政法人会計基準等」という。）を適用して、財務諸表等を作成しております。

1. 運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

（1）有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2	～	47 年
構築物	2	～	68 年
医療用器械備品	2	～	20 年
その他器械備品	2	～	20 年
車 両	2	～	7 年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第 87 第 1 項）の減価償却に相当する額については、減価償却相当累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

（2）無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5 年）に基づいております。

（3）リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

4. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時の職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(9～10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

なお、財政再計算が行われたことにより生じた整理資源に係る退職給付引当金の差額については、発生年度において処理しております。

(会計方針の変更)

退職一時金のうち、運営費交付金により財源措置される部分については、前事業年度まで引当金を計上しておりませんでした。独立行政法人会計基準等の改訂により、当事業年度より、当事業年度末における退職給付債務を退職給付引当金として計上するとともに、退職給付引当金と同額を退職給付引当金見返として計上しております。

これらが経常利益、当期純利益及び当期総利益に与える影響はありません。

5. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

6. 損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

7. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

8. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

9. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 6 号 最終改正 平成 21 年 3 月 27 日）を適用しております。

また、独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成 16 年厚生労働省令第 77 号）により、減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないと認められる償却資産については、固定資産減損損失は計上せず、資産の減損額と同額をその他行政コスト累計額として計上しております。

II. 貸借対照表

1. 純資産の部の表示方法の変更

損益外減価償却累計額及び損益外減損損失累計額について、前事業年度まで資本剰余金の控除項目として表示しておりましたが、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い、当事業年度より、その他行政コスト累計額の減価償却相当累計額及び減損損失相当累計額として表示しております。

損益外除売却差額相当額について、前事業年度まで資本剰余金に含めて表示しておりましたが、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い、当事業年度より、その他行政コスト累計額の除売却差額相当累計額として表示しております。

損益外除売却差額相当額について表示方法を変更したことにより、資本剰余金の当期首残高が 3,347,835,411 円増加し、除売却差額相当累計額の当期首残高が △3,347,835,411 円増加しております。

2. その他行政コスト累計額のうち、出資を財源に取得した資産に係る金額

△4,155,363,978 円

III. 行政コスト計算書

1. 会計基準改訂に伴う退職給付費用

臨時損失のうち、59,416,992,194 円は独立行政法人会計基準等の改訂に伴う退職給付費用であり、平成 30 事業年度以前の発生分であります。

2. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

行政コスト	1,084,291,871,593 円
自己収入等	△1,008,020,159,950 円
機会費用	<u>22,992,848 円</u>
独立行政法人の業務運営に関して 国民の負担に帰せられるコスト	<u><u>76,294,704,491 円</u></u>

3. 機会費用の計上方法

- (1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

- (2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和2年3月末利回りを参考に0.005%で計算しております。

IV. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他診療業務収益	748,042,678 円
② 研修収益	333,641,089 円
③ 研究収益	22,859,417 円
④ その他経常収益	<u>207,040,750 円</u>
合 計	<u>1,311,583,934 円</u>

2. 固定資産売却益の内訳

① 医療用器械備品	36,766,544 円
② その他器械備品	5,499 円
③ 車 両	<u>2,536,534 円</u>
合 計	<u>39,308,577 円</u>

3. 固定資産減損損失

- (1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用 途	場 所	減 損 損 失		
		建 物	そ の 他	計
遊休資産 (病棟等)	松本市大字寿豊丘字 上川原 811 番 57 外 11 箇所	407,440,662	457,276,296	864,716,958

- (2) 減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しております。

- (3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

4. 退職給付引当金見返に係る収益

臨時利益に計上した退職給付引当金見返に係る収益は、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い期首に計上したものであります。

5. 会計基準改訂に伴う退職給付費用

臨時損失に計上した会計基準改訂に伴う退職給付費用は、平成 30 事業年度以前の発生分であります。

6. その他臨時利益の内訳

① 賠償金等の受入	48,844,971 円
② 運営費交付金（既存ブロック塀等の除却費）の収益化	21,349,322 円
③ その他	81,392,001 円
合 計	151,586,294 円

7. その他臨時損失の内訳

① 病院の全面建替に伴う移転経費	984,171,219 円
② 財政再計算による退職共済年金に係る整理資源負担金増加額	637,765,071 円
③ 過年度の資産除去債務費用（アスベスト除去費用）	536,493,376 円
④ 災害損失費用（台風被害関係経費）	140,085,605 円
⑤ その他	473,293,389 円
合 計	2,771,808,660 円

V. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	79,795,672,001 円
資金期末残高	79,795,672,001 円

2. 重要な非資金取引

該当事項はありません。

VI. オペレーティング・リース取引

1. 貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料	62,943,518 円
2. 貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料	96,125,091 円

Ⅶ. 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については預金及び合同運用指定金銭信託に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、合同運用指定金銭信託のみを保有することとし株式等は保有していません。

借入金等の使途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計 上 額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	79,796	79,796	—
(2) 医業未収金	162,720	162,720	—
(3) 有価証券	50,000	50,000	—
合同運用指定金銭信託	50,000	50,000	—
(4) 買掛金	(40,454)	(40,454)	—
(5) 未払金	(67,226)	(67,226)	—
(6) 長期借入金	(520,164)	(528,858)	(8,694)
(7) リース債務	(754)	(753)	(△0)

(注1) 負債に計上されているものは () で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(3) 有価証券

合同運用指定金銭信託については、預金と同様の性格を有し短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(4) 買掛金、(5) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(6) 長期借入金、(7) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

VIII. 退職給付引当金

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	182,813,609,043 円
独立行政法人会計基準改訂に伴う調整額	59,416,992,194 円
勤務費用	19,805,458,191 円
利息費用	1,210,185,435 円
数理計算上の差異の当期発生額	△ 4,028,692,898 円
退職給付の支払額	△ 19,085,841,857 円
期末における退職給付債務	<u>240,131,710,108 円</u>

3. 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	240,131,710,108 円
未認識過去勤務費用（注）	10,328,982,333 円
未認識数理計算上の差異	8,227,840,355 円
整理資源負担金	<u>54,564,919,423 円</u>
退職給付引当金	<u>313,253,452,219 円</u>

（注） 平成 25 年 1 月 1 日から国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律（平成 24 年法律第 96 号）及び平成 27 年 4 月 1 日から独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程の適用を受けたため、過去勤務費用が発生しております。また、平成 31 年 1 月 25 日に同退職手当規程の改正がなされたため、過去勤務費用が発生しております。

4. 退職給付に関連する損益

勤務費用	19,805,458,191 円
利息費用	1,210,185,435 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	△ 2,400,674,854 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 95,504,938 円
退職給付費用	<u>18,519,463,834 円</u>

（注） 上記退職給付費用には他法人へ出向している職員に係る分として、26,318,062 円が含まれております。

（注） 上記退職給付費用以外に共済組合負担金、長期公経済負担金等の退職給付費用として、49,946,655,939 円を計上しております。

5. 数理計算上の計算の基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）

割引率 0.5%

IX. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用及び照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に2年から47年と見積っております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融资及び国債の利回りを参考に算定しており、0.010%から2.351%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	3,540,563,082 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	7,418,928 円
時の経過による調整額	41,659,554 円
資産の除去等による履行額	△ 253,363,933 円
見積りの変更による増加額	567,656,928 円
期末残高	3,903,934,559 円

4. 資産除去債務の見積りの変更

建物等に含まれるアスベストの除去費用として計上していた資産除去債務について、新たな情報の入手に伴い、除去費用に関しての見積りの変更を行っております。

X. 不要財産に係る国庫納付関係

該当事項はありません。

X I. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

XⅡ．追加情報

1．新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症への対応について、当機構は国や自治体からの要請に応え、中国武漢からの帰国者の対応やクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」における感染者の受入、各地域における感染者の受入など積極的に取り組み、我が国における同感染症への対応に貢献しております。

今般の同感染症の全国的な拡大に伴い、感染防止の観点からの診療体制の一部制限や患者の受診控え等による収入の減少、体制整備による支出の増加等に起因して、令和2年4月以降の業績が低下しておりますが、減損の兆候の有無の判断にあたっては、短期的な回復は困難であるものの中期的には回復すると仮定して、会計上の見積りを行っております。

なお、上記の見積りに用いた仮定の不確実性は高く、同感染症の感染状況が変化した場合には、翌年度以降の会計上の見積りに影響を与える可能性があります。

2．令和3年度以降の運営費交付金について

「XⅢ．重要な後発事象」に記載のとおり、公経済負担の負担対象から当機構が除外されました。

これに合わせ、令和3年度以降の当機構に対する運営費交付金について、皆減等の見直しが行われることとされております。

なお、令和元年度における運営費交付金の交付額は15,527,771,000円であります。

XⅢ．重要な後発事象

令和2年5月29日に、第201回通常国会において、「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律（令和2年法律第40号）」が可決・成立しました。

これにより、令和3年4月1日以降、育児休業手当金及び介護休業手当金の支給並びに基礎年金拠出金の納付に要する費用（公経済負担）の負担対象から当機構が除外されます。

この結果、令和3年度以降の経常費用が減少し、経常利益、当期純利益及び当期総利益が増加する見込みです。

なお、令和元年度における当該費用の額は15,179,206,000円であります。

XIV. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報
独立行政法人固有の会計処理に伴う科目は、以下のとおりです。

- (1) 退職給付引当金見返
- (2) 運営費交付金債務
- (3) 預り補助金等
- (4) 預り寄附金
- (5) 資産見返負債
- (6) 長期預り寄附金
- (7) その他行政コスト累計額
- (8) 減価償却相当額
- (9) 除売却差額相当額
- (10) 運営費交付金収益
- (11) 補助金等収益
- (12) 寄附金収益
- (13) 退職給付引当金見返に係る収益

財 務 諸 表

(附 属 明 細 書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の資産に係る費用相当額の会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

資産の種類		期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末残高	摘要
						当期償却額	減価償却累計額	当期減損額	減損損失累計額		
有形固定 資産(減価 償却費)	建物	831,015,084,497	66,434,989,342	6,304,436,892	891,145,636,947	398,525,649,251	32,239,528,777	10,208,019,075	407,440,662	482,411,968,621	
	構築物	37,952,741,023	2,453,664,165	393,355,274	40,013,049,914	21,716,657,080	1,787,343,076	526,107,773	1,568,894	17,770,285,061	
	医療用器械備品	264,094,663,334	14,770,201,079	9,639,389,374	269,225,475,039	222,990,669,596	17,249,362,740	68,978,205	0	46,165,827,238	
	その他器械備品	60,756,006,396	6,144,335,434	2,697,391,917	64,202,949,913	46,144,333,949	6,885,033,621	17,290,238	1,038,198	18,041,325,726	
	車両	1,353,706,376	74,641,322	46,076,028	1,382,271,670	1,216,050,946	68,473,213	207,828	0	166,012,896	
	計	1,195,172,201,626	89,877,831,342	19,080,649,485	1,265,969,383,483	690,593,360,822	58,229,741,427	10,820,603,119	410,047,754	564,555,419,542	
有形固定資 産(減価償 却相当額)	建物	10,201,977,827	217,910,844	44,369,687	10,375,518,984	4,988,466,313	405,559,804	6,451,590	0	5,380,601,081	
	構築物	980,324,917	0	0	980,324,917	785,754,790	35,513,476	1,110,777	0	193,459,350	
	計	11,182,302,744	217,910,844	44,369,687	11,355,843,901	5,774,221,103	441,073,280	7,562,367	0	5,574,060,431	
非償却資 産	土地	470,153,641,248	102,364,515	228,630,393	470,027,375,370	—	—	—	—	469,229,877,518	
	建設仮勘定	45,872,189,879	12,983,769,209	54,837,727,301	4,018,231,787	—	—	—	—	37,362,000	
	その他の有形固定資産	78,439,400	0	0	78,439,400	—	—	0	0	78,439,400	
有形固定 資産合計	計	516,104,270,527	13,086,133,724	55,066,357,694	474,124,046,557	—	—	797,497,852	454,669,204	473,326,548,705	
	建物	841,217,062,324	66,652,900,186	6,348,806,579	901,521,155,931	403,514,115,564	32,645,088,581	10,214,470,665	407,440,662	487,792,569,702	
	構築物	38,933,065,940	2,453,664,165	393,355,274	40,993,374,831	22,502,411,870	1,822,856,552	527,218,550	1,568,894	17,963,744,411	
	医療用器械備品	264,094,663,334	14,770,201,079	9,639,389,374	269,225,475,039	222,990,669,596	17,249,362,740	68,978,205	0	46,165,827,238	
	その他器械備品	60,756,006,396	6,144,335,434	2,697,391,917	64,202,949,913	46,144,333,949	6,885,033,621	17,290,238	1,038,198	18,041,325,726	
	車両	1,353,706,376	74,641,322	46,076,028	1,382,271,670	1,216,050,946	68,473,213	207,828	0	166,012,896	
無形固定 資産	土地	470,153,641,248	102,364,515	228,630,393	470,027,375,370	—	—	797,497,852	417,307,204	469,229,877,518	
	建設仮勘定	45,872,189,879	12,983,769,209	54,837,727,301	4,018,231,787	—	—	—	37,362,000	4,018,231,787	
	その他の無形固定資産	78,439,400	0	0	78,439,400	—	—	0	0	78,439,400	
	計	1,722,458,774,897	103,181,875,910	74,191,376,866	1,751,449,273,941	696,367,581,925	58,670,814,707	11,625,663,338	864,716,958	1,043,456,028,678	
	特許権	69	13	0	82	4	4	0	0	78	
	ソフトウェア	50,246,270,842	7,420,520,987	3,156,448,929	54,510,342,900	35,311,030,726	7,362,149,471	0	0	19,199,312,174	
投資その 他の資産	電話加入権	200,756,120	0	288,000	200,468,120	—	—	5,399,925	0	195,068,195	
	その他無形固定資産	88,355,643	0	0	88,355,643	12,264,407	5,918,104	0	0	76,091,236	
	計	50,535,382,674	7,420,521,000	3,156,736,929	54,799,166,745	35,323,295,137	7,368,067,579	5,399,925	0	19,470,471,683	
	長期貸付金	2,043,775,215	542,201,200	897,715,196	1,688,261,219	—	—	—	—	1,688,261,219	
	破産更生債権等	1,814,635,555	475,872,449	451,169,288	1,839,338,716	—	—	—	—	1,839,338,716	
	貸倒引当金	△ 1,814,635,555	△ 239,372,178	△ 214,669,017	△ 1,839,338,716	—	—	—	—	△ 1,839,338,716	
投資その 他の資産	長期前払費用	45,891,848	11,071,254	19,572,580	37,390,522	—	—	—	—	37,390,522	
	災害備蓄在庫	260,550,021	452,540,532	37,491,827	675,598,726	—	—	—	—	675,598,726	
	退職給付引当金見返	0	59,713,286,296	7,196,087,104	52,517,199,192	—	—	—	—	52,517,199,192	
	その他投資資産	19,769,500	0	1,060,000	18,709,500	—	—	—	—	18,709,500	
	計	2,369,986,584	60,955,599,553	8,388,426,978	54,937,159,159	—	—	—	—	54,937,159,159	

2. たな卸資産の明細

たな卸資産の明細							(単位:円)
種 類	期 首 残 高	当期増加額	当期減少額		期 末 残 高	摘 要	
		当期購入・ 製造・振替	払出・振替	その他			
医薬品	4,117,072,244	166,709,773,278	166,501,052,988	2,944,111	4,322,848,423	注	
診療材料	1,825,926,860	83,647,966,349	83,564,390,786	11,488,711	1,898,013,712	注	
給食用材料	196,797,057	11,155,754,303	11,250,305,568	0	102,245,792		
貯蔵品	648,298,837	17,478,043,069	17,524,118,550	0	602,223,356		
計	6,788,094,998	278,991,536,999	278,839,867,892	14,432,822	6,925,331,283		

(注) 当期減少額のその他は、低価法による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細

流動資産として計上された有価証券						(単位:円)	
その他有価証券	種 類 及 び 銘 柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期費用に含まれた評価差額	期末残高	摘 要
合同運用指定金銭信託		50,000,000,000	50,000,000,000	50,000,000,000	0	0	
貸借対照表計上額 合計				50,000,000,000			

4. 長期貸付金の明細

長期貸付金の明細							(単位:円)
区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要	
			回収額	償却額			
奨学金貸与	2,161,611,047	542,201,200	176,969,937	716,665,196	1,810,177,114	注	
計	2,161,611,047	542,201,200	176,969,937	716,665,196	1,810,177,114		

(注) 1. 当期減少額のうち「償却額」は独立行政法人国立病院機構奨学金貸与規程第11条による返還免除額及び回収不能による償却額です。

2. 一年以内回収長期貸付金(期末残高121,915,895円)を含めております。

5. 長期借入金の明細

区 分	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘 要
		492,814,597,702	85,500,000,000	58,150,289,546	520,164,308,156				
財政融資資金	492,814,597,702	85,500,000,000	58,150,289,546	520,164,308,156	0.46%	令和2年5月25日 ～令和31年3月20日			
計	492,814,597,702	85,500,000,000	58,150,289,546	520,164,308,156					

6. 引当金の明細

区 分	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		29,475,588,196	29,808,897,877	目的使用	その他		
賞与引当金	29,475,588,196	29,808,897,877	29,475,588,196	0	29,808,897,877		
損益補償損失引当金	1,172,570,126	241,909,750	470,608,237	0	943,871,639		
計	30,648,158,322	30,050,807,627	29,946,196,433	0	30,752,769,516		

7. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

区 分	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高		摘 要
	期首残高	当期増減額	期末残高	当期増減額	
医業未収金	161,254,182,400	1,465,977,155	162,720,159,555	△ 40,621,357	469,716,288
一般債権	161,254,182,400	1,465,977,155	162,720,159,555	△ 40,621,357	469,716,288 注1
未収金	5,429,876,226	3,767,607,584	9,197,483,810	0	0
一般債権	5,429,876,226	3,767,607,584	9,197,483,810	0	0
破産更生債権等	1,814,635,555	24,703,161	1,839,338,716	1,814,635,555	1,839,338,716
破産更生債権等	1,814,635,555	24,703,161	1,839,338,716	1,814,635,555	1,839,338,716 注2
計	168,498,694,181	5,258,287,900	173,756,982,081	△ 15,918,196	2,309,055,004

(注) 1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
2. 破産更生債権等(発生から1年以上経過した医業未収金及び未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

8. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
退職給付債務合計額	304,221,240,589	17,624,715,799	27,149,326,857	294,696,629,531	
退職一時金に係る債務	242,230,601,237	16,986,950,728	19,085,841,857	240,131,710,108	
整理資産負担金に係る債務	61,990,639,352	637,765,071	8,063,485,000	54,564,919,423	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	17,024,309,582	4,028,692,898	2,496,179,792	18,556,822,688	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	321,245,550,171	21,653,408,697	29,645,506,649	313,253,452,219	

(注) 退職給付引当金の期首残高には、独立行政法人会計基準改訂に伴う調整額59,416,992,194円を含めております。

9. 資産除去債務の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
労働安全衛生法等に基づく債務	3,310,236,039	607,029,598	249,099,958	3,668,165,679	注
特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	215,018,958	7,464,012	3,302,775	219,180,195	注
PCB特別措置法等に基づく債務	15,308,085	2,241,800	961,200	16,588,685	注
計	3,540,563,082	616,735,410	253,363,933	3,903,934,559	

(注) 資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされておられません。

10. 資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
施設費	36,384,251,161	217,910,844	0	36,602,162,005	注
補助金等	13,313,455,914	0	0	13,313,455,914	
目的積立金	84,319,126,612	0	0	84,319,126,612	
減資差益	5,382,262,991	0	0	5,382,262,991	
その他	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
計	234,152,952,560	217,910,844	0	234,370,863,404	

(注) 当期増加額は、心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金を財源とした資産の増加によるものです。

11. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額			引当金見返との相殺額	期末残高
		運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小計	
0	15,527,771,000	5,093,120,054	539,273,946	0	5,632,394,000	2,702,017,896

(単位:円)

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

①運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

区 分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
		費用	主な使途
教育研修事業	194,103,017	人件費:155,728,337円、消耗品費:26,996,750円、その他:11,377,930円	
業務達成基準による振替額	3,825,360,966	人件費:987,592,569円、消耗品費:596,141,207円、その他:2,241,627,190円	
臨牀研究事業	1,073,656,071	消耗品費:186,399,832円、その他:887,256,239円	
その他事業	0	0	
期間進行基準による振替額	0	0	
費用進行基準による振替額	0	0	
費用進行基準による振替額	0	0	
合計	5,093,120,054	5,093,120,054	

(単位:円)

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
教育研修事業	24,593,998	その他器械備品:24,593,998円	0	
臨牀研究事業	63,803,024	その他器械備品:60,949,324円、ソフトウェア:2,853,700円	0	
その他事業	450,876,924	構築物:110,897,138円、その他器械備品:304,887,497円、車両: 23,474,054円、ソフトウェア:11,618,235円	0	
合計	539,273,946		0	

(単位:円)

(3) 引当金見返との相殺額の明細

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
教育研修事業	0	
臨牀研究事業	0	
その他事業	7,193,359,104	退職給付引当金見返:7,193,359,104円
合計	7,193,359,104	

(単位:円)

(4) 運営費交付金債務残高の明細

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	2,702,017,896	翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。 その他事業の国期間に係る退職手当については、計画に対し退職者が少なかつたため、翌事業年度に2,702,017,896円を引当金見返と相殺予定。
費用進行基準を採用した業務に係る分	0	(費用進行基準を採用した業務は無い)
配分留保額	0	
計	2,702,017,896	

(単位:円)

12. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

(1) 施設費の明細

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘 要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
心仲喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金	239,813,000	0	217,911,324	21,901,676	
計	239,813,000	0	217,911,324	21,901,676	

(単位:円)

(2) 補助金等の明細

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘 要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
心仲喪失者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	86,611,841	0	0	0	86,611,841	
心仲喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業費補助金	1,539,000	0	0	0	1,539,000	
感染症予防事業費等補助金(難病特別対策推進事業費)	18,405,000	0	0	0	18,405,000	
感染症予防事業費等補助金(がん診療連携拠点病院機能強化事業費)	580,206,940	0	0	0	580,206,940	
感染症予防事業費等補助金(がんのゲノム医療・集学的治療推進事業)	36,684,060	0	2,844,820	0	33,839,240	
感染症予防事業費等補助金(がん患者の仕事と治療の両立支援モデル事業)	6,338,000	0	0	0	6,338,000	
医療関係者研修費補助金	15,281,000	0	0	0	15,281,000	
自動車事故対策費補助金	3,688,550	0	0	0	3,688,550	
依存症対策全国拠点機関設置運営事業費補助金	70,080,000	0	0	0	70,080,000	
依存症に関する調査研究事業費補助金	89,999,000	0	0	0	89,999,000	
精神科医療体制確保研修事業費補助金	3,505,000	0	0	0	3,505,000	
アレルギー疾患医療提供体制整備事業費補助金	17,089,000	0	0	0	17,089,000	
アレルギー疾患対策拠点医療機関整備事業費補助金	6,133,000	0	0	0	6,133,000	
自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業費補助金	856,000	0	0	0	856,000	
医療施設等設備整備費補助金	2,406,820,000	0	2,406,820,000	0	0	
新型コロナウイルス感染症等の病床確保補助金	42,253,000	0	0	0	42,253,000	
タスク・シフティング等勤務環境改善推進事業費補助金	3,040,000	0	2,918,300	0	121,700	
食品健康影響評価技術研究費補助金	1,737,503	0	0	0	1,737,503	
慢性疼痛診療体制構築モデル事業補助金	5,639,000	0	0	0	5,639,000	
医薬品副作用等被害救済事務費等補助金	39,173,000	0	17,335,243	0	21,837,757	
[北海道外43都府県] 新人看護職員研修事業補助金	85,856,000	0	0	0	85,856,000	
[北海道外8県] 新型インフルエンザ対策事業費補助金	10,791,520	0	3,648,720	0	7,142,800	
[北海道外4都府県] 救急勤務医等支援事業費補助金	17,222,000	0	0	0	17,222,000	
[北海道外13都府県] 医療施設等施設・設備整備費補助金	247,915,617	0	162,861,524	0	85,054,093	
[北海道外27府県] 看護師等養成所運営費補助金	509,477,900	0	4,126,900	0	505,351,000	
[北海道外12府県] 防災訓練等参加事業費補助金	3,731,000	0	0	0	3,731,000	
[北海道外6県] 勤務環境改善支援事業補助金	75,803,000	0	60,150,000	0	15,653,000	
[北海道外32都府県] 臨床研修費等補助金	572,471,505	0	0	0	572,471,505	
[青森県外24県] 産科医等確保支援事業費補助金	44,161,000	0	0	0	44,161,000	
[青森県外17府県] 小児・周産期医療施設運営費補助金	364,811,000	0	0	0	364,811,000	
[青森県外6都府県] 感染症対策整備事業補助金	61,055,063	0	43,874,000	0	17,181,063	
[岩手県外28府県] 保育所運営費補助金	247,334,000	0	13,947,000	0	233,387,000	
[岩手県外4県] 小児救急医療支援事業補助金	123,562,960	0	2,191,000	0	121,371,960	
[岩手県外4県] 障害福祉施設等整備費補助金	52,882,500	0	33,765,776	0	19,116,724	
[岩手県外6府県] 感染症外来協力医療機関整備補助金	5,440,000	0	904,970	0	4,535,030	
[宮城県外10府県] がん診療施設整備事業補助金	153,166,500	0	127,575,000	0	25,591,500	
[宮城県外3県] 受入困難患者受入医療機関支援事業補助金	36,617,000	0	0	0	36,617,000	
[宮城県外9県] 設定看護師研修支援事業費補助金	6,437,910	0	0	0	6,437,910	
[宮城県外9都府県] 災害医療対策事業費補助金	64,422,344	0	55,228,000	0	9,194,344	
[宮城県外1県] ドクターヘリ導入促進事業補助金	214,276,000	0	1,463,000	0	212,813,000	
[宮城県外1県] 地域医療復興事業補助金	28,957,800	0	0	0	28,957,800	
[宮城県外13県] 地域医療介護総合確保事業補助金	39,241,295	0	9,278,000	0	29,963,295	
[宮城県外4府県] 原子的災害対策施設整備費補助金	399,334,912	0	361,611,466	0	37,723,446	
[宮城県外3県] 診療連携コーディネート事業費補助金	16,722,000	0	0	0	16,722,000	
[宮城県外1県] 結核健康診断補助金	102,042	0	0	0	102,042	
[宮城県外1県] 医療施設前震整備事業費補助金	1,188,369,000	0	1,187,451,000	0	918,000	
[宮城県] 仙台医療センター建替等設備整備事業補助金	1,097,624,001	0	1,097,624,001	0	0	

(単位:円)

区 分	当期待付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[茨城県外4府県]救命救急センター運営事業補助金	246,449,528	0	40,205,002	0	206,244,526	
[茨城県外14府県]医療人材養成支援事業費補助金	17,840,500	0	4,345,000	0	13,495,500	
[栃木県外6県]感染症指定医療機関運営費等補助金	75,787,000	0	0	0	75,787,000	
[栃木県外4県]災害拠点病院施設整備費補助金	10,434,000	0	1,768,000	0	8,666,000	
[群馬県外1県]へき地医療拠点病院運営費補助金	10,562,000	0	5,720,000	0	4,842,000	
[埼玉県外6府県]女性医師等就労支援事業補助金	15,555,000	0	0	0	15,555,000	
[埼玉県外3県]病院群輪番制病院支援事業補助金	21,896,000	0	19,788,000	0	2,108,000	
[千葉県外7府県]在宅移行児童一時支援事業補助金	22,616,900	0	0	0	22,616,900	
[千葉県外4府県]救急救命士病院実習受入促進事業補助金	3,267,000	0	0	0	3,267,000	
[千葉県外5府県]保健衛生施設等施設整備費補助金	50,250,000	0	44,013,737	0	6,236,263	
[東京都外4府県]がん医療均てん化推進事業費補助金	140,671,955	0	120,649,955	0	20,022,000	
[新潟県外2府県]在宅医療普及促進事業補助金	1,389,610	0	0	0	1,389,610	
[長野県外1県]医療提供体制施設整備補助金	37,131,000	0	26,959,883	0	10,171,117	
[長野県]地域自殺対策強化事業補助金	60,000	0	0	0	60,000	
[長野県外5府県]外国人患者受入れ環境整備等推進事業補助金	2,974,600	0	0	0	2,974,600	
[富山県外4府県]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	17,052,700	0	0	0	17,052,700	
[岐阜県外1県]障害児者施設等入所者支援事業費補助金	1,913,873	0	0	0	1,913,873	
[愛知県]有休診療所等スプリングクレー等施設整備補助金	100,187,000	0	99,928,650	0	258,350	
[愛知県]訪問看護ステーション派遣研修事業費補助金	235,000	0	0	0	235,000	
[三重県外2県]医療施設運営費等補助金	2,358,000	0	0	0	2,358,000	
[三重県]地域療育支援施設運営事業	19,769,000	0	0	0	19,769,000	
[福井県外1県]医師派遣推進事業費補助金	1,369,000	0	0	0	1,369,000	
[大法院]緩和ケア人材養成事業補助金	658,000	0	0	0	658,000	
[徳島県外1県]救急医療支援事業費補助金	3,358,000	0	0	0	3,358,000	
[香川県外1県]小児慢性特定疾病重症患児等療養生活支援事業	3,591,000	0	0	0	3,591,000	
[愛媛県]新型コロナウィルス感染症に係る保健衛生施設等整備費補助事業	1,141,800	0	734,800	0	407,000	
[愛媛県]病床機能分化連携基盤整備事業費補助金	50,423,000	0	42,074,216	0	8,348,784	
[佐賀県]結核予防費補助金	133,919	0	0	0	133,919	
[神奈川県外1県]障害者総合支援事業費補助金	2,100,000	0	0	0	2,100,000	
[神奈川県外3府県]新型コロナウイルス感染症対策費補助金	16,546,606	0	0	0	16,546,606	
[和歌山県外1県]肝疾患診療費等活動支援事業費補助金	5,873,000	0	0	0	5,873,000	
[旭川市外8市]新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	32,903,390	0	0	0	32,903,390	
[旭川市外22市町]保育所運営費補助金	34,018,671	0	0	0	34,018,671	
[札幌市外3市]結核健康診断費補助金	129,771	0	0	0	129,771	
[札幌市]がん患者等相談支援体制整備促進事業補助金	1,000,000	0	0	0	1,000,000	
[弘前市外21市]病院群輪番制病院運営事業補助金	167,987,427	0	0	0	167,987,427	
[大船渡市外13市町]レスパイトケア運営事業費補助金	13,137,156	0	0	0	13,137,156	
[仙台市]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	6,594,000	0	0	0	6,594,000	
[宇都宮市外13市町]救急医療体制運営費補助金	104,682,196	0	0	0	104,682,196	
[宇都宮市外9市町]小児救急医療支援事業補助金	94,672,627	0	0	0	94,672,627	
[茨川市]井戸新設整備工事実施に伴う補助金	2,818,800	0	2,818,800	0	0	
[高崎市]災害医療対策事業費補助金	31,000	0	0	0	31,000	
[高崎市]高齢総合医療センター新病棟整備費補助金	1,200,000,000	0	1,196,307,832	0	3,692,168	
[千葉市]看護師養成所運営事業補助金	16,723,000	0	0	0	16,723,000	
[千葉市外4市]産科医等確保支援事業費補助金	7,282,600	0	0	0	7,282,600	
[横浜市内外1市]二次救急拠点病院体制確保に係る補助金	25,126,060	0	0	0	25,126,060	
[横浜市内外2市]周産期救急連携病院補助金	71,390,000	0	69,033,360	0	2,356,640	
[横浜市]アピアランス支援事業補助金	19,000	0	0	0	19,000	
[相模市]認定看護師等資格取得助成事業補助金	936,000	0	0	0	936,000	
[小諸市]松くい虫被害防除特殊伐採補助金	25,000	0	0	0	25,000	
[上田市外2市町]医師確保補助金	25,195,000	0	0	0	25,195,000	
[木津川市外11市町]心身障がい児者福祉サービス利用等促進事業補助金	13,489,000	0	0	0	13,489,000	
[鳥取市外1町]重度障がい児者支援事業補助金	3,372,700	0	0	0	3,372,700	
計	11,807,993,152	0	7,269,965,955	0	4,538,027,197	

13. 役員及び職員の給与の明細

区 分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	(4,320,000) 104,694,357	(2) 7	(0)	(0) 0
職 員	(37,595,579,705) 389,031,167,662	(14,335) 60,331	(0)	(0) 5,689
合 計	(37,599,899,705) 389,135,862,019	(14,337) 60,338	(0)	(0) 5,689

- (注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によっております。
2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構期間医師の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構治療コーディネーターの給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構休業等代替職員の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程、独立行政法人国立病院機構本部非常勤特定専門職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程によっております。
3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。
4. 非常勤の役員及び職員並びに期間職員は、外数として()で記載しております。
5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

14. 科学研究費補助金の明細

種 目	当期受入	件 数	摘 要
文部科学省科学研究費補助金	12,081,000 (40,270,000)	32	
日本学術振興会学術研究助成基金助成金	51,508,263 (174,348,592)	287	
科学技術振興機構科学研究費	6,654,000 (22,230,000)	4	
厚生労働科学研究費補助金	110,964,404 (360,696,680)	151	
合 計	181,207,667 (597,545,272)	474	

(注) 直接経費相当額については、外数として()で記載しております。

15. 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

	診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
I 行政コスト						
損益計算書上の費用合計	989,932,374,890	7,811,453,598	12,884,936,200	1,010,628,764,688	73,432,951,459	1,084,061,716,147
その他行政コスト						
減価償却相当額	404,667,271	0	0	404,667,271	0	404,667,271
除売却差額相当額	△ 174,511,825	0	0	△ 174,511,825	0	△ 174,511,825
その他行政コスト合計	230,155,446	0	0	230,155,446	0	230,155,446
行政コスト	990,162,530,336	7,811,453,598	12,884,936,200	1,010,858,920,134	73,432,951,459	1,084,291,871,593
II 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	△ 1,480,362,840	3,337,127,560	6,024,688,092	7,881,452,812	68,413,251,679	76,294,704,491
III 事業収益、事業費用及び事業損益						
事業収益						
医療収益	985,335,317,082	—	—	985,335,317,082	—	985,335,317,082
看護師等養成所収益	—	4,018,792,985	—	4,018,792,985	—	4,018,792,985
研修収益	—	382,566,454	—	382,566,454	—	382,566,454
研究収益	—	—	6,634,374,601	6,634,374,601	—	6,634,374,601
運営費交付金収益	5,169,257	197,723,872	3,912,428,977	4,115,322,106	1,347,219,950	5,462,542,056
補助金等収益	5,383,091,550	565,647,195	205,091,472	6,153,830,217	264,369,509	6,418,199,726
寄附金収益	258,331,274	1,015,000	343,070,211	602,416,485	1,377,000	603,793,485
資産見返物品受贈額戻入	806,872	0	0	806,872	0	806,872
施設費収益	21,901,676	0	0	21,901,676	0	21,901,676
財務収益	0	0	0	0	11,277,013	11,277,013
その他	5,900,371,425	71,951,599	44,915,268	6,017,238,292	5,324,756,258	11,341,994,550
事業収益合計	996,904,989,136	5,237,697,105	11,139,880,529	1,013,282,566,770	6,948,999,730	1,020,231,566,500
事業費用						
業務費	983,294,457,638	7,739,447,685	12,880,832,560	1,003,914,737,883	—	1,003,914,737,883
一般管理費	—	—	—	—	3,952,901,606	3,952,901,606
財務費用	0	0	0	0	3,034,835,422	3,034,835,422
その他	—	—	—	—	7,027,913,441	7,027,913,441
事業費用合計	983,294,457,638	7,739,447,685	12,880,832,560	1,003,914,737,883	14,015,650,469	1,017,930,388,352
事業損益(△損失)	13,610,531,498	△ 2,501,750,580	△ 1,740,952,031	9,367,828,887	△ 7,066,650,739	2,301,178,148
IV 臨時損益等						
臨時利益	150,449,854	0	19,095,695	169,545,549	59,438,341,516	59,607,887,065
臨時損失	6,637,917,252	72,005,913	4,103,640	6,714,026,805	59,417,300,990	66,131,327,795
臨時損益(△損失)	△ 6,487,467,398	△ 72,005,913	14,992,055	△ 6,544,481,256	21,040,526	△ 6,523,440,730
当期純損益(△損失)	7,123,064,100	△ 2,573,756,493	△ 1,725,959,976	2,823,347,631	△ 7,045,610,213	△ 4,222,262,582
当期総損益(△損失)	7,123,064,100	△ 2,573,756,493	△ 1,725,959,976	2,823,347,631	△ 7,045,610,213	△ 4,222,262,582
V 総資産						
流動資産						
現金及び預金	0	0	0	0	79,795,672,001	79,795,672,001
医療未収金	162,250,443,267	0	0	162,250,443,267	0	162,250,443,267
その他	13,750,489,473	301,783,093	587,779,522	14,640,052,088	52,414,217,878	67,054,269,966
流動資産計	176,000,932,740	301,783,093	587,779,522	176,890,495,355	132,209,889,879	309,100,385,234
固定資産						
建物	464,139,756,029	18,786,337,966	3,248,028,955	486,174,122,950	1,618,446,752	487,792,569,702
構築物	17,496,504,285	288,233,482	13,119,038	17,797,856,805	165,887,606	17,963,744,411
医療器械備品	46,165,827,238	0	0	46,165,827,238	0	46,165,827,238
その他器械備品	15,275,625,482	148,775,160	1,048,773,059	16,473,173,701	1,568,152,025	18,041,325,726
土地	459,427,963,300	4,270,081,642	55,870,933	463,753,915,875	5,475,961,643	469,229,877,518
建設仮勘定	4,018,231,787	0	0	4,018,231,787	0	4,018,231,787
ソフトウェア	18,312,296,242	11,976,474	297,602,804	18,621,875,520	577,436,654	19,199,312,174
その他	2,791,576,419	17,093,333	2,263,278	2,810,933,030	52,641,837,934	55,452,770,964
固定資産計	1,027,627,780,782	23,522,498,067	4,665,658,067	1,055,815,936,906	62,047,722,614	1,117,863,659,520
総資産	1,203,628,713,522	23,824,281,150	5,253,437,589	1,232,706,432,261	194,257,612,493	1,426,964,044,754

(注) 1. セグメントの区分については、中期目標等における一定の事業等のもとでの区分に基づくセグメント情報を開示しております。

2. 事業の内容

「診療事業」 : 安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業

「教育研修事業」 : 質の高い医療従事者(医師、看護師等)を養成・育成するための事業

「臨床研究事業」 : 医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業

3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、土地建物等貸付料収入(1,409,078,091円)です。

4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(3,952,901,606円)です。

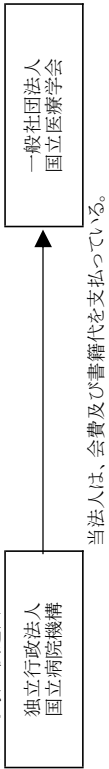
5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(79,795,672,001円)、管理部門が管理する土地(5,475,961,643円)、管理部門に係る建物(1,618,446,752円)です。

16. 関連公益法人の状況

関連公益法人の概要

名称	業務の概要	役員の氏名(令和2年3月31日現在)
一般社団法人 国立医療学会	・学会、研究会、講習会等の開催 ・機関誌等の発行 ・国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその褒賞 ・関係諸団体と連携及び交流事業 ・その他当法人の目的を達成するために必要な事業	理事長 福岡 英雄 国立病院機構理事長 理事 長田 恵子 国立病院機構看護担当理事 理事 上之原 広司 国立病院機構仙台医療センター院長 理事 大島 久二 国立病院機構東京医療センター院長 理事 長谷川 好規 国立病院機構名古屋医療センター院長 理事 中井 國雄 国立病院機構南和歌山医療センター院長 理事 奥谷 卓也 国立病院機構広島西医療センター院長 理事 森田 茂樹 国立病院機構九州医療センター院長 理事 小森 哲夫 国立病院機構箱根病院院長 理事 杠 岳史 国立病院機構肥前精神医療センター院長 理事 中釜 斉 国立がん研究センター理事長 理事 國土 典宏 国立国際医療研究センター理事長 監事 富岡 重人 国立病院機構東京病院院長 監事 齋藤 清 国立病院機構東京医療センター事務部長

関連公益法人との取引の関連図



当法人は、会費及び書籍代を支払っている。

関連公益法人の財務状況

法人名	資産	負債	正味財産	当期収入合計額	当期支出合計額	当期収支差額	摘要
一般社団法人 国立医療学会	5,831,646	5,442,365	389,281	—	—	—	注

(注) 関連公益法人において収支計算書を作成していないため、当期収入合計額、当期支出合計額及び当期収支差額は記載しておりません。

関連公益法人の正味財産について

一般正味財産増減の部										指定正味財産増減の部							正味財産期 末残高		
収益		収益の内訳		費用		費用の内訳		当期増減額	一般正味財産 期首残高	一般正味財産 期末残高	収益		収益の内訳		費用等	当期増減額	指定正味財産 期首残高	指定正味財産 期末残高	K=E+J
		受取補助金 等	その他の収益			受取補助金 等	その他の収益						G	H=F-G					
13,330,652	0	13,330,652		16,526,675		16,242,882	66,623	217,170	△ 3,196,023	3,585,304	389,281	0	0	0	0	0	0	0	389,281

関連公益法人との取引の状況

法人名	基本財産に対する出えん	拠出、寄附金	当事業年度において 当法人が負担した 会費、負担金等	関連公益法人に対する 債権債務の明細		関連公益法人の 事業収入	うち当法人からの収入 (うち、上段:競争契約等 下段:随意契約)	割合
				科目	金額			
一般社団法人 国立医療学会	0	0	1,391,600	未払金	703,800	13,330,652	5,602,472 (0) (5,602,472)	42.0% (0.0%) (42.0%)

(注) 1. 上記法人に対する債務保証はありません。
 2. 上記「競争契約等」とは、競争契約及び企画競争・公募のことであり、「随意契約」とは競争性のない随意契約のことを示しています。

17. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

該当事項はありません。

決算報告書

決 算 報 告 書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	診療事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	997,460,940,000	997,270,018,620	△ 190,921,380	
その他収入	140,000,000	426,419,900	286,419,900	有形固定資産の売却による収入が計画より増加したこと等による
計	997,600,940,000	997,696,438,520	95,498,520	
支出				
業務経費				
診療業務経費	894,636,537,000	898,893,456,467	4,256,919,467	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	94,185,109,000	76,570,319,293	△ 17,614,789,707	整備費の年度内の支払額が計画より減少したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	78,749,000	1,097,906,349	1,019,157,349	計画時では法人共通に計上していたこと等による
計	988,900,395,000	976,561,682,109	△ 12,338,712,891	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	教育研修事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	180,447,000	218,697,015	38,250,015	運営費交付金の配分額を見直したこと等による
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	4,764,174,000	5,080,001,560	315,827,560	
その他収入	0	0	0	
計	4,944,621,000	5,298,698,575	354,077,575	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	6,680,726,000	6,554,451,131	△ 126,274,869	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	1,568,210,000	1,142,388,885	△ 425,821,115	整備費の年度内の支払額が計画より減少したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	1,131,040	1,131,040	計画時では法人共通に計上していたこと等による
計	8,248,936,000	7,697,971,056	△ 550,964,944	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	臨床研究事業			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	5,029,653,000	3,889,163,990	△ 1,140,489,010	運営費交付金の配分額を見直したこと等による
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	6,639,426,000	7,117,346,113	477,920,113	
その他収入	0	0	0	
計	11,669,079,000	11,006,510,103	△ 662,568,897	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	12,408,936,000	12,083,005,355	△ 325,930,645	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	800,959,000	373,570,567	△ 427,388,433	整備費の年度内の支払額が計画より減少したこと等による
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	473,040	473,040	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	13,209,895,000	12,457,048,962	△ 752,846,038	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	共通			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	10,317,671,000	11,419,909,995	1,102,238,995	運営費交付金の配分額を見直したこと等による
長期借入金等	85,500,000,000	85,500,000,000	0	
業務収入	4,074,888,000	3,734,810,397	△ 340,077,603	
その他収入	62,889,000	2,177,505,937	2,114,616,937	資産運用の戻入を行ったこと等による
計	99,955,448,000	102,832,226,329	2,876,778,329	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	45,095,239,000	45,376,861,603	281,622,603	
施設整備費	19,153,000	1,912,331,584	1,893,178,584	整備費の年度内の支払額が計画より増加したこと等による
借入金償還	59,033,927,000	58,150,289,546	△ 883,637,454	
支払利息	2,700,588,000	2,702,593,582	2,005,582	
その他支出	1,575,308,000	14,590,081,451	13,014,773,451	資産運用の預入を行ったこと等による
計	108,424,215,000	122,732,157,766	14,307,942,766	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	合 計			
	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	15,527,771,000	15,527,771,000	0	
長期借入金等	85,500,000,000	85,500,000,000	0	
業務収入	1,012,939,428,000	1,013,202,176,690	262,748,690	
その他収入	202,889,000	2,603,925,837	2,401,036,837	資産運用の戻入を行ったこと等による
計	1,114,170,088,000	1,116,833,873,527	2,663,785,527	
支出				
業務経費				
診療業務経費	894,636,537,000	898,893,456,467	4,256,919,467	
教育研修業務経費	6,680,726,000	6,554,451,131	△ 126,274,869	
臨床研究業務経費	12,408,936,000	12,083,005,355	△ 325,930,645	
その他の経費	45,095,239,000	45,376,861,603	281,622,603	
施設整備費	96,573,431,000	79,998,610,329	△ 16,574,820,671	整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる
借入金償還	59,033,927,000	58,150,289,546	△ 883,637,454	
支払利息	2,700,588,000	2,702,593,582	2,005,582	
その他支出	1,654,057,000	15,689,591,880	14,035,534,880	資産運用の預入を行ったこと等による
計	1,118,783,441,000	1,119,448,859,893	665,418,893	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監 事 の 意 見

監 査 報 告

独立行政法人国立病院機構
理事長 楠 岡 英 雄 殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第19条第2項及び同法第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構（以下「法人」という。）の第16期事業年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、損失の処理に関する書類（案）、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、監査計画に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門その他職員（以下「役員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席し、役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（財務報告プロセスを含む。以下「内部統制システム」という。）について、役員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）並びに事業報告書（会計に関する部分）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第131条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

II 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているものと認める。
- 2 内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する法人の長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。
- 3 役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。
- 4 財務諸表等に関する会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- 5 事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

III 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する重大な事実等は認められない。

令和 2年 7月17日

独立行政法人国立病院機構

監 事

伊勢 若祐 

監 事

石尾 常 

会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

令和2年7月15日

独立行政法人国立病院機構

理事長 楠岡英雄 殿

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

関口 茂 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

矢崎 弘直 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

藤本 庸介 

<財務諸表監査>

監査意見

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第16期事業年度の財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）、すなわち、貸借対照表、行政コスト計算書、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の令和2年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の運営状況及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。独立行政法人の監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における会計監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、独立行政法人から独立しており、また、会計監査人のその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

財務諸表に対する独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における会計監査人の責任

会計監査人の責任は、会計監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正及び誤謬並びに違法行為により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

会計監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は会計監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、会計監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに独立行政法人の長によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適切に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽表示をもたらす要因となることに十分留意して計画し、監査を実施する。

会計監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び独立行政法人の監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告>

会計監査人の報告

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第16期事業年度の損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

当監査法人の報告は次のとおりである。

- (1) 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 事業報告書（会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているものと認める。

独立行政法人の長及び監事の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること、財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示す事業報告書を作成すること、並びに独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における独立行政法人の役員（監事を除く。）の職務の執行を監視することにある。

会計監査人の責任

会計監査人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態、運営状況及びキャッシュ・フローの状況を正しく示しているか並びに決算報告書が独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

